

江戸川区
家庭ごみ組成分析調査報告書

令和5年3月

江戸川区

目 次

第1章 調査概要

1 調査目的	1
2 調査背景	1
3 調査対象地域と調査日程.....	1
4 調査方法	2
5 調査したごみ量.....	3
6 組成調査の分類.....	3
7 注意事項	5

第2章 調査結果

1 組成割合	6
2 分別不適物.....	14
3 排出容器別のごみ重量と利用割合.....	17
4 反転コンテナ・角型容器 1 杯あたりの重量.....	19
5 小型家電の分析.....	20

第3章 食品ロスの廃棄状況

1 食品ロスの割合.....	22
2 未利用品の品目.....	23
3 未利用品の消費期限・賞味期限.....	23
4 消費期限・賞味期限と廃棄日の比較.....	24
5 食品ロスの年間廃棄量の推計.....	25

第4章 考察

1 過去の調査との比較.....	26
2 ごみ減量の可能性.....	29
3 今後の課題.....	31

第 1 章 調査概要

1 調査目的

本調査は、家庭から排出される燃やすごみ、燃やさないごみ、容器包装プラスチックについて組成割合を調査し、家庭ごみの性状を把握するとともに、さらなるごみ減量とリサイクル推進のための基礎資料とすることを目的としています。

日本では、まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が年間で約 522 万トン（令和 2 年度推計）発生していると推計されます。本区では区民、事業者と一体となった「えどがわ食べきり推進運動」を展開していることから、本区のごみに含まれる食品ロスの実態を明らかにすることを目的としています。

2 調査背景

江戸川区では、平成 20 年 4 月から容器包装プラスチックの再資源化と埋立処分場の延命化を目的に、再生資源としてリサイクルできるプラスチックと清掃工場で熱エネルギー源として利用するプラスチックに分別を変更しました。

平成 25 年 4 月からは粗大ごみ、平成 28 年 4 月からは燃やさないごみの中から家電製品や金属類を選別して、適正に再資源化できる業者に引き渡し、鉄やアルミ、金・銀・銅などの有用金属をリサイクルする取り組みを始めました。

3 調査対象地域と調査日程

燃やすごみと容器包装プラスチックについては、経年的な変化を把握するため、過去の調査と同じ地域とし、燃やさないごみについては、前年度に引き続き葛西清掃事務所管内としました。

小岩清掃事務所管内からは一戸建て中心の地域として東小岩を、葛西清掃事務所小松川分室管内からは一戸建て・低層集合住宅混在地域として平井を、葛西清掃事務所管内からは高層集合住宅地域として南葛西を選定しました。

表 1-1 対象地域と調査日程

調査日	曜日	ごみ種	場所
10 月 17 日	月曜日	燃やすごみ	平井 2 丁目
10 月 18 日	火曜日	燃やすごみ	東小岩 4 丁目
		容プラ	平井 2 丁目
10 月 19 日	水曜日	容プラ	東小岩 4 丁目
10 月 20 日	木曜日	容プラ	南葛西 5 丁目
10 月 21 日	金曜日	燃やすごみ	南葛西 5 丁目
10 月 22 日	土曜日	燃やさないごみ	葛西清掃事務所管内

4 調査方法

次の手順で調査しました。

- ①ごみ集積所から収集したごみを葛西清掃事務所に搬入しました。なお、事業系有料ごみ処理券が貼付してあるごみなど、明らかに事業系とわかるごみは対象から除きました。
- ②ごみを入れた容器(容量表示のある袋やレジ袋など)を種類ごとに分類し、それぞれの重量と個数を記録しました。
- ③ごみを入れた容器のまま、大規模集合住宅のごみ・資源の保管場所で使用されている反転コンテナボックス(以下「反転コンテナ」といいます。)と同じ大きさの箱に入れ、反転コンテナ1杯あたりの重量を測定しました。燃やさないごみは90リットルの角型容器で1杯あたりの重量を測定しました。
- ④ごみを表1-3に示す55種類に分類し、それぞれの重量を測定しました。

写真 1-1 搬入



写真 1-2 容器別の計量



写真 1-3 ごみの分類



写真 1-4 分類したごみの計量



5 調査したごみ量

組成調査では、燃やすごみ 315.98kg、燃やさないごみ 122.43kg、容器包装プラスチック 63.55kg を調査しました。

表 1-2 サンプル量

	単位(kg)			
	東小岩地域	平井地域	南葛西地域	合計
燃やすごみ	111.26	103.51	101.21	315.98
容器包装プラスチック	21.02	21.44	21.09	63.55
	葛西清掃事務所管内			
燃やさないごみ	122.43			

6 組成調査の分類

表 1-3、表 1-4 のように資源物 21 品目(紙類 8 品目、びん・缶・ペットボトル 5 品目、容器包装プラスチック 8 品目)、可燃物 20 品目(紙類 3 品目、布類 1 品目、生ごみ 4 品目、木・草類 1 品目、プラスチック・ゴム・皮革類 9 品目、その他可燃物 2 品目)、不燃物 10 品目(有害・危険物 7 品目、その他不燃物 3 品目)、外袋 4 品目、合計 55 品目に分類しました。外袋とは、ごみを排出するために使用した袋のことです。

表 1-3 組成調査の分類（１）

No	分類	品目	具体的な品目及び注意点
1	資源物	新聞(きれいな状態)	
2		折込広告	新聞に入る広告
3		雑誌・本	パンフレット・カタログ(4P以上のもの)
4		OA用紙	
5		段ボール	断面が段々になっている
6		紙パック	1リットルの牛乳・ジュースの紙パック
7		容器包装紙類(リサイクル可)	包装紙、紙箱、紙袋、紙容器、1リットル以外の紙パック
8		その他紙類(リサイクル可)	投げ込みチラシ・ノート・ボール紙・はがき
9		リターナブルビン	一升びん、ビールびん
10		ワンウェイビン	一升びん以外の酒、ワイン、ジュース、ジャム
11		飲用・食用スチール缶	ペッドフードの缶含む
12		飲用・食用アルミ缶	ペッドフードの缶含む
13		ペットボトル	「PET」表示あり、飲料、醤油のみ
14		食品トレイ	スーパーで販売している肉、魚、野菜がのっているトレイ
15		食品用パック類	卵、持ち帰り弁当の容器
16		カップ類	プリン、ゼリーなどの容器
17		ボトル容器	シャンプー、洗剤
18		レジ袋(中身なし)	レジ袋で利用されていないもの
19		キャップ類	ペットボトルやインスタントコーヒーのふた
20		フィルム容器	透明なお菓子の袋、野菜の袋、ペットボトル外装
21		保護材	発砲スチロール、各種緩衝材、保護材
22	可燃物	新聞(汚れた状態)	ごみを包む等使用した新聞紙
23		容器包装紙類(リサイクル不可)	カップ麺の紙容器、フタ、紙トレイ、紙カップ、200mなどの紙パック、ロがプラの酒カップ
24		その他紙類(リサイクル不可)	紙おむつ、カーボン紙、紙くず、ちり紙、伝票、レシート、カーボン紙
25		布類	布類
26		生ごみ(未利用品)	未開封(賞味・消費期限切れ)の食品、手つかずの食品
27		生ごみ(使い残し)	開封して使い残した食品、切った野菜・果物
28		食べ残し	食べ物の残り
29		生ごみ(厨芥類)	調理くず、野菜くず
30		木・草類	割りばし、竹くし、コルク、庭木、落ち葉、生花
31		チューブ容器	マヨネーズ、歯磨き粉
32		レジ袋(中身あり)	ごみの小袋ろしてりようされたもの
33		容器包装プラスチック(アルミ蒸着)	ポテトチップスの袋、カップ麺のふた、レトルトパックなどの銀色のもの
34		容器包装プラスチック(汚れた状態)	汚れたもの
35		製品プラスチック(プラスチック単一素材)	歯ブラシ、おもちゃ、バケツ、ビデオテープ、レースのカーテン
36		金属とのプラスチック複合製品	安全カミソリ、カッター、金属部分のあるプラスチックおもちゃ
37		医療用プラスチック製品	点滴用器具、注射器
38		その他プラスチック製品	その他の素材とプラスチックの複合製品
39		ゴム・皮革類	
40		医療系	
41		その他可燃	タバコの吸い殻、油を固めたもの、掃除機ごみ、ガーゼ、足ふきマット、生理用品、猫砂、ぬいぐるみ、枕、インクリボン・カートリッジ、乾燥剤、クレヨン、湿布

表 1-4 組成調査の分類（２）

No	分類	品目	具体的な品目及び注意点	
42	不燃物	有害危険物	スプレー缶(中身あり)	スプレー缶・コンロ用カセットボンベ
43			スプレー缶(中身なし)	
44			電池(1次電池)	
45			電池(2次電池)	リチウムイオン電池
46			蛍光管	
47			ライター	
48			水銀含有物	
49			その他不燃物	その他金属
50	小型家電	アイロン、炊飯器、ポットなど30cm未満の小型家電		
51	その他不燃物	飲用、食用以外のびん(化粧品)、びん以外のガラス、電球、カイロ、かさ、複合品、薬		
52	外袋	プラスチック袋	透明、半透明、不透明袋	
53		レジ袋		
54		紙袋		
55		その他		

7 注意事項

表や図中の合算値は、四捨五入の関係上、合計値と一致しないものがあります。表の中で「0.0」と表示されているところは、表示されている桁数より小さい値がある場合を表しています。

第 2 章 調査結果

1 組成割合

(1) 燃やすごみ

燃やすごみでは、可燃物が 80.5%、資源物が 17.9%、不燃物が 0.6%、外袋が 1.0% となっています。分別が適正なものは、可燃物と外袋で合計 81.5%、不適正なものは資源物と不燃物で 18.5%です。

可燃物の内訳は、生ごみが 32.8%で最も多く、次いで、紙類が 14.7%、プラスチック・ゴム・皮革類が 12.2%です。

図 2-1 燃やすごみの組成割合

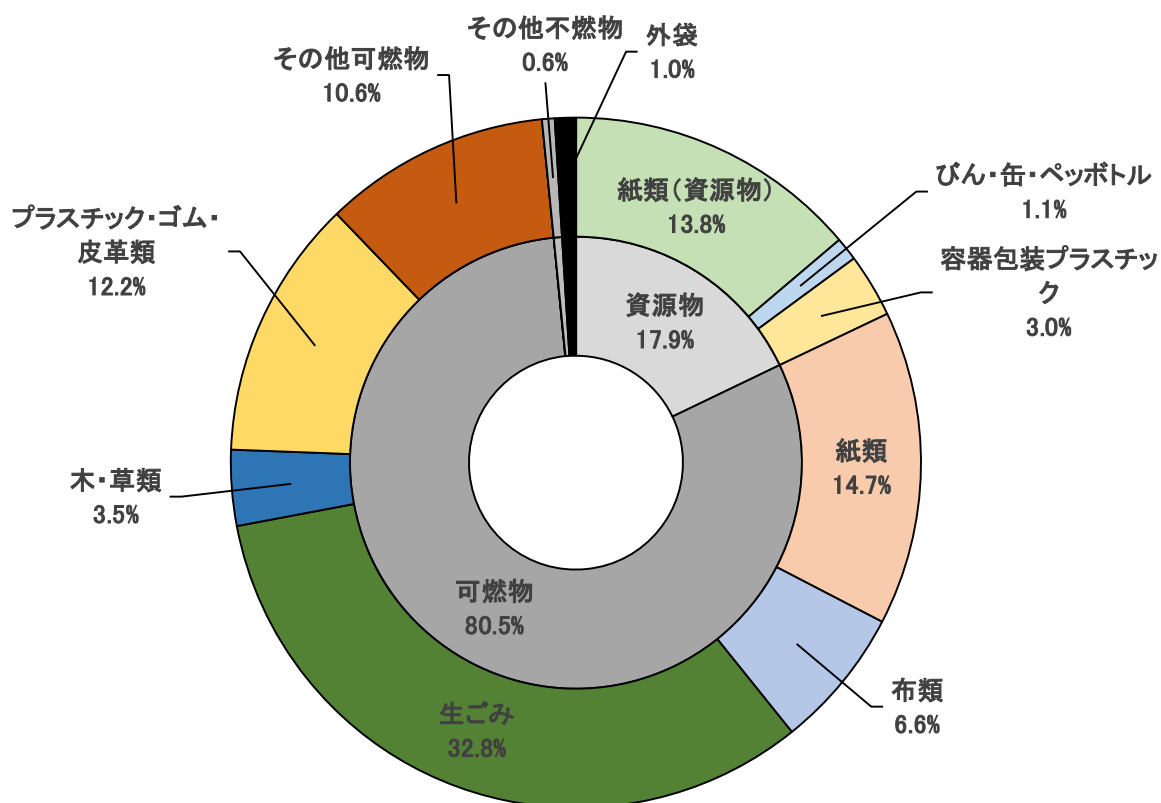


表 2-1 燃やすごみの組成重量

単位(kg)

大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	0.12	1.05	0.76	1.93
		折込広告	0.61	0.24	0.18	1.03
		雑誌・本	0.17	2.49	2.26	4.92
		OA用紙	0.33	0.26	0.09	0.68
		段ボール	2.69	2.02	0.77	5.48
		紙バック	1.53	0.57	1.07	3.17
		容器包装紙類(リサイクル可)	5.14	5.94	5.00	16.08
		その他紙類(リサイクル可)	2.46	2.26	5.46	10.18
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん				
		ワンウェイびん	0.23	0.08		0.31
		飲用・食用スチール缶		0.01	0.35	0.36
		飲用・食用アルミ缶	1.00	0.11	0.06	1.17
		ペットボトル	0.35	0.67	0.59	1.61
	容器包装プラスチック	食品トレイ	0.07	0.18	0.24	0.49
		食品用パック類	0.70	0.39	0.21	1.30
		カップ類	0.20	0.13	0.13	0.46
		ボトル容器	1.03	0.91	0.44	2.38
		レジ袋(中身なし)	0.12	0.57	0.47	1.16
		キャップ類	0.07	0.12	0.05	0.24
		フィルム容器	1.03	1.65	0.16	2.84
		保護材	0.17	0.13	0.20	0.50
可燃物	紙類	新聞(汚れた状態)	0.78	1.18	1.19	3.15
		容器包装紙類(リサイクル不可)	1.83	1.01	2.19	5.03
		その他紙類(リサイクル不可)	13.23	10.52	14.39	38.14
	布類	布類	8.20	7.55	5.03	20.78
	生ごみ	生ごみ(未利用品)	3.27	2.76	5.37	11.41
		生ごみ(使い残し)	1.83	2.05	1.34	5.22
		食べ残し	1.81	1.29	2.02	5.12
		生ごみ(厨芥類)	27.43	27.89	26.13	81.45
	木・草類	木・草類	5.58	3.80	1.76	11.14
	プラスチック・ゴム・皮革類	チューブ容器	0.03	0.17		0.20
		レジ袋(中身あり)	0.50	0.52	0.47	1.49
		容器包装プラスチック(アルミ蒸着)	0.66	1.01	0.18	1.85
		容器包装プラスチック(汚れた状態)	7.22	4.51	9.84	21.57
		製品プラスチック(プラスチック単一素材)	3.00	2.20	2.34	7.54
		金属とのプラスチック複合製品	0.07	0.20	0.01	0.28
		医療用プラスチック製品			0.21	0.21
		その他プラスチック製品	0.03			0.03
		ゴム・皮革類	1.96	3.23		5.19
	その他可燃物	医療系				
		その他可燃	13.63	11.18	8.57	33.38
不燃物	有害・危険物	スプレー缶(中身あり)				
		スプレー缶(中身なし)				
		電池(1次電池)		0.02		0.02
		電池(2次電池)				
		蛍光管				
		ライター				
		水銀含有物				
	その他不燃物	その他金属	0.35	0.55	0.15	1.05
		小型家電		0.16		0.16
		その他不燃物	0.40	0.09	0.15	0.64
外袋		プラスチック袋	0.75	0.74	0.61	2.10
		レジ袋	0.17	0.19	0.64	1.00
		紙袋				
		その他				
		合計	110.75	102.60	101.08	314.44
資源物(紙類)			13.05	14.83	15.59	43.47
資源物(びん・缶・ペットボトル)			1.58	0.87	1.00	3.45
資源物(容器包装プラスチック)			3.39	4.08	1.90	9.37
可燃物			91.06	81.07	81.04	253.18
不燃物			0.75	0.82	0.30	1.87
外袋			0.92	0.93	1.25	3.10
合計			110.75	102.60	101.08	314.44

表 2-2 燃やすごみの組成割合

大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	0.1%	1.0%	0.8%	0.6%
		折込広告	0.6%	0.2%	0.2%	0.3%
		雑誌・本	0.2%	2.4%	2.2%	1.6%
		OA用紙	0.3%	0.3%	0.1%	0.2%
		段ボール	2.4%	2.0%	0.8%	1.7%
		紙バック	1.4%	0.6%	1.1%	1.0%
		容器包装紙類(リサイクル可)	4.6%	5.8%	4.9%	5.1%
		その他紙類(リサイクル可)	2.2%	2.2%	5.4%	3.2%
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん				
		ワンウェイびん	0.2%	0.1%		0.1%
		飲用・食用スチール缶		0.0%	0.3%	0.1%
		飲用・食用アルミ缶	0.9%	0.1%	0.1%	0.4%
		ペットボトル	0.3%	0.7%	0.6%	0.5%
	容器包装プラスチック	食品トレイ	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%
		食品用バック類	0.6%	0.4%	0.2%	0.4%
		カップ類	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
		ボトル容器	0.9%	0.9%	0.4%	0.8%
		レジ袋(中身なし)	0.1%	0.6%	0.5%	0.4%
		キャップ類	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
		フィルム容器	0.9%	1.6%	0.2%	0.9%
		保護材	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%
可燃物	紙類	新聞(汚れた状態)	0.7%	1.2%	1.2%	1.0%
		容器包装紙類(リサイクル不可)	1.7%	1.0%	2.2%	1.6%
		その他紙類(リサイクル不可)	11.9%	10.3%	14.2%	12.1%
	布類	布類	7.4%	7.4%	5.0%	6.6%
	生ごみ	生ごみ(未利用品)	3.0%	2.7%	5.3%	3.6%
		生ごみ(使い残し)	1.7%	2.0%	1.3%	1.7%
		食べ残し	1.6%	1.3%	2.0%	1.6%
		生ごみ(厨芥類)	24.8%	27.2%	25.8%	25.9%
	木・草類	木・草類	5.0%	3.7%	1.7%	3.5%
	プラスチック・ゴム・皮革類	チューブ容器	0.0%	0.2%		0.1%
		レジ袋(中身あり)	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%
		容器包装プラスチック(アルミ蒸着)	0.6%	1.0%	0.2%	0.6%
		容器包装プラスチック(汚れた状態)	6.5%	4.4%	9.7%	6.9%
		製品プラスチック(プラスチック単一素材)	2.7%	2.1%	2.3%	2.4%
		金属とのプラスチック複合製品	0.1%	0.2%	0.0%	0.1%
		医療用プラスチック製品			0.2%	0.1%
		その他プラスチック製品	0.0%			0.0%
		ゴム・皮革類	1.8%	3.1%		1.7%
	その他可燃物	医療系				
		その他可燃	12.3%	10.9%	8.5%	10.6%
不燃物	有害・危険物	スプレー缶(中身あり)				
		スプレー缶(中身なし)				
		電池(1次電池)		0.0%		0.0%
		電池(2次電池)				
		蛍光管				
		ライター				
		水銀含有物				
	その他不燃物	その他金属	0.3%	0.5%	0.1%	0.3%
		小型家電		0.2%		0.1%
		その他不燃物	0.4%	0.1%	0.1%	0.2%
外袋		プラスチック袋	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%
		レジ袋	0.2%	0.2%	0.6%	0.3%
		紙袋				
		その他				
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
資源物(紙類)			11.8%	14.5%	15.4%	13.8%
資源物(びん・缶・ペットボトル)			1.4%	0.8%	1.0%	1.1%
資源物(容器包装プラスチック)			3.1%	4.0%	1.9%	3.0%
可燃物			82.2%	79.0%	80.2%	80.5%
不燃物			0.7%	0.8%	0.3%	0.6%
外袋			0.8%	0.9%	1.2%	1.0%
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 燃やさないごみ

燃やさないごみでは、不燃物が 84.5%、資源物が 7.8%、可燃物が 6.9%、外袋が 0.8%となっています。分別が適正なものは、不燃物と外袋で合計 85.3%、不適正なものは資源物と可燃物で 14.7%です。

不燃物の内訳は、その他不燃物が 34.3%で最も多く、次いで、その他金属が 23.7%、小型家電が 14.2%です。

図 2-2 燃やさないごみの組成割合

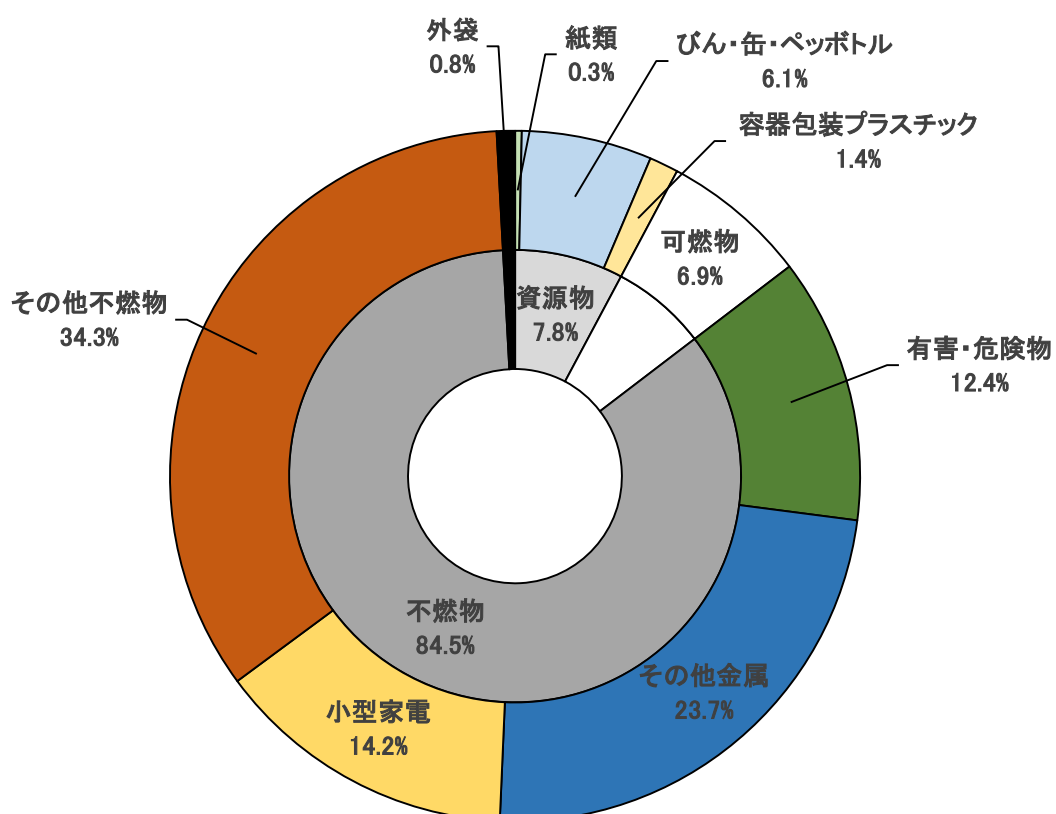


表 2-3 燃やさないごみの組成重量と割合

大分類	中分類	小分類	ごみ量(kg)	割合
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)		
		折込広告		
		雑誌・本		
		OA用紙		
		段ボール	0.28	0.2%
		紙バック		
		容器包装紙類(リサイクル可)	0.04	0.0%
	その他紙類(リサイクル可)	0.06	0.0%	
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん		
		ワンウェイびん	6.95	5.7%
		飲用・食用スチール缶	0.13	0.1%
		飲用・食用アルミ缶	0.35	0.3%
		ペットボトル		
	容器包装プラスチック	食品トレイ		
		食品用バック類		
		カップ類		
		ボトル容器	1.59	1.3%
		レジ袋(中身なし)		
		キャップ類		
フィルム容器	0.06	0.0%		
保護材				
可燃物	紙類	新聞(汚れた状態)	0.27	0.2%
		容器包装紙類(リサイクル不可)	0.12	0.1%
		その他紙類(リサイクル不可)	0.03	0.0%
	布類	布類	0.01	0.0%
		生ごみ	生ごみ(未利用品)	
	生ごみ(使い残し)			
	食べ残し			
	生ごみ(厨芥類)			
	木・草類	木・草類	0.14	0.1%
		プラスチック・ゴム・皮革類	チューブ容器	0.11
	レジ袋(中身あり)		0.22	0.2%
	容器包装プラスチック(アルミ蒸着)			
	容器包装プラスチック(汚れた状態)			
	製品プラスチック(プラスチック単一素材)		2.88	2.4%
	金属とのプラスチック複合製品		3.55	2.9%
	医療用プラスチック製品		0.06	0.0%
	その他プラスチック製品		0.04	0.0%
	ゴム・皮革類	0.12	0.1%	
	その他可燃物	医療系		
その他可燃		0.79	0.6%	
不燃物	有害・危険物	スプレー缶(中身あり)	0.98	0.8%
		スプレー缶(中身なし)	3.78	3.1%
		電池(1次電池)	5.24	4.3%
		電池(2次電池)	4.35	3.6%
		蛍光管	0.63	0.5%
		ライター	0.12	0.1%
		水銀含有物		
	その他不燃物	その他金属	28.78	23.7%
		小型家電	17.26	14.2%
		その他不燃物	41.68	34.3%
外袋		プラスチック袋	0.46	0.4%
		レジ袋	0.47	0.4%
		紙袋	0.02	0.0%
		その他	0.08	0.1%
		合計	121.65	100.0%
		資源物(紙類)	0.38	0.3%
		資源物(びん・缶・ペットボトル)	7.43	6.1%
		資源物(容器包装プラスチック)	1.65	1.4%
		可燃物	8.34	6.9%
		不燃物	102.82	84.5%
		外袋	1.03	0.8%
		合計	121.65	100.0%

(3) 容器包装プラスチック

容器包装プラスチックでは、容器包装プラスチックが 79.8%、容器包装プラスチック以外の資源物が 1.8%、可燃物が 14.8%、不燃物が 0.3%、外袋が 3.4%となっています。分別が適正なものは、容器包装プラスチックと外袋で合計 83.2%、不適正なものは容器包装プラスチック以外の資源物と可燃物と不燃物で 16.9%です。

容器包装プラスチックの内訳は、食品用パック類が 29.9%で最も多く、次いで、フィルム容器が 22.7%、食品トレイとボトル容器が 7.1%などの順です。

図 2-3 容器包装プラスチックの組成割合

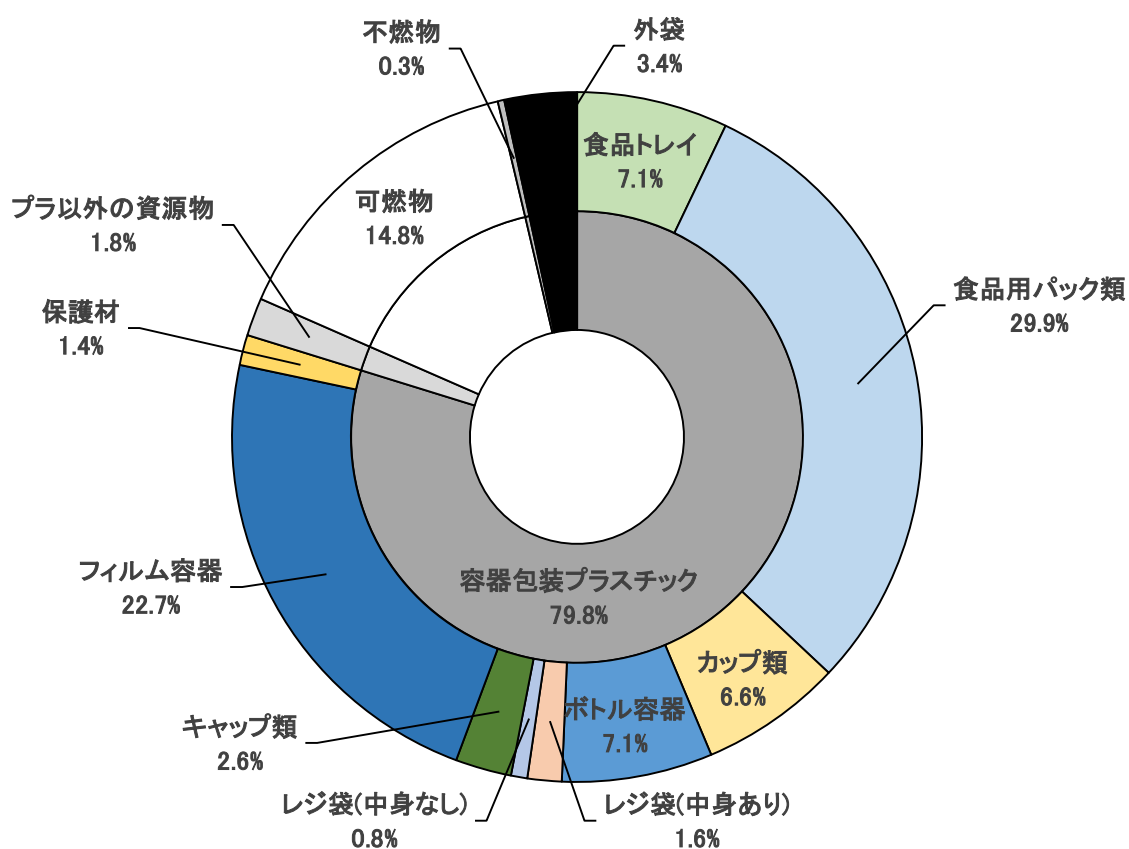


表 2-4 容器包装プラスチックの組成重量

単位(kg)							
大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計	
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)					
		折込広告					
		雑誌・本					
		OA用紙			0.04	0.04	
		段ボール					
		紙バック			0.04	0.04	
		容器包装紙類(リサイクル可)	0.30			0.30	
	その他紙類(リサイクル可)						
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん					
		ワンウェイびん					
		飲用・食用スチール缶		0.02		0.02	
		飲用・食用アルミ缶					
	容器包装プラスチック	ペットボトル	0.24	0.44	0.04	0.72	
		食品トレイ	1.65	0.72	2.12	4.49	
		食品用バック類	7.14	5.72	6.08	18.94	
		カップ類	1.46	1.36	1.39	4.21	
		ボトル容器	1.02	2.09	1.37	4.48	
		レジ袋(中身なし)	0.19	0.22	0.08	0.49	
		キャップ類	0.50	0.71	0.45	1.66	
		フィルム容器	4.48	5.62	4.26	14.36	
	保護材	0.23	0.44	0.23	0.90		
可燃物	紙類	新聞(汚れた状態)					
		容器包装紙類(リサイクル不可)					
		その他紙類(リサイクル不可)	0.02			0.02	
	布類	布類					
	生ごみ	生ごみ(未利用品)	0.24			0.24	
		生ごみ(使い残し)					
		食べ残し					
		生ごみ(厨芥類)					
	木・草類	木・草類					
		プラスチック・ゴム・皮革類	チューブ容器	0.03	0.01	0.15	0.19
			レジ袋(中身あり)	0.08	0.27	0.66	1.01
			容器包装プラスチック(アルミ蒸着)	0.28	0.36	0.72	1.36
			容器包装プラスチック(汚れた状態)	1.80	1.35	0.85	4.00
			製品プラスチック(プラスチック単一素材)	0.53	1.15	0.27	1.95
			金属とのプラスチック複合製品			0.26	0.26
			医療用プラスチック製品				
			その他プラスチック製品				
ゴム・皮革類							
その他可燃物	医療系						
	その他可燃	0.02		1.32	1.34		
不燃物	有害・危険物	スプレー缶(中身あり)					
		スプレー缶(中身なし)					
		電池(1次電池)					
		電池(2次電池)					
		蛍光管					
		ライター					
		水銀含有物					
		その他金属	0.02		0.03	0.05	
	その他不燃物	小型家電		0.14		0.14	
		その他不燃物					
		プラスチック袋	0.45	0.41	0.38	1.24	
外袋	レジ袋	0.25	0.38	0.27	0.90		
	紙袋						
	その他						
合計			20.93	21.41	21.01	63.35	

資源物(紙類)	0.30		0.08	0.38
資源物(びん・缶・ペットボトル)	0.24	0.46	0.04	0.74
資源物(容器包装プラスチック)	16.67	16.88	15.98	49.53
可燃物	3.00	3.14	4.23	10.37
不燃物	0.02	0.14	0.03	0.19
外袋	0.70	0.79	0.65	2.14
合計	20.93	21.41	21.01	63.35

表 2-5 容器包装プラスチックの組成割合

大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)				
		折込広告				
		雑誌・本				
		OA用紙			0.2%	0.1%
		段ボール				
		紙バック			0.2%	0.1%
		容器包装紙類(リサイクル可)	1.4%			0.5%
	その他紙類(リサイクル可)					
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん				
		ワンウェイびん				
		飲用・食用スチール缶		0.1%		0.0%
		飲用・食用アルミ缶				
		ペットボトル	1.1%	2.1%	0.2%	1.1%
	容器包装プラスチック	食品トレイ	7.9%	3.4%	10.1%	7.1%
		食品用バック類	34.1%	26.7%	28.9%	29.9%
		カップ類	7.0%	6.4%	6.6%	6.6%
		ボトル容器	4.9%	9.8%	6.5%	7.1%
		レジ袋(中身なし)	0.9%	1.0%	0.4%	0.8%
		キャップ類	2.4%	3.3%	2.1%	2.6%
		フィルム容器	21.4%	26.2%	20.3%	22.7%
	保護材	1.1%	2.1%	1.1%	1.4%	
可燃物	紙類	新聞(汚れた状態)				
		容器包装紙類(リサイクル不可)				
		その他紙類(リサイクル不可)	0.1%			0.0%
	布類	布類				
	生ごみ	生ごみ(未利用品)	1.1%			0.4%
		生ごみ(使い残し)				
		食べ残し				
		生ごみ(厨芥類)				
	木・草類	木・草類				
		チューブ容器	0.1%	0.0%	0.7%	0.3%
		レジ袋(中身あり)	0.4%	1.3%	3.1%	1.6%
		容器包装プラスチック(アルミ蒸着)	1.3%	1.7%	3.4%	2.1%
		容器包装プラスチック(汚れた状態)	8.6%	6.3%	4.0%	6.3%
		製品プラスチック(プラスチック単一素材)	2.5%	5.4%	1.3%	3.1%
		金属とのプラスチック複合製品			1.2%	0.4%
		医療用プラスチック製品				
		その他プラスチック製品				
ゴム・皮革類						
その他可燃物	医療系					
	その他可燃	0.1%		6.3%	2.1%	
不燃物	有害・危険物	スプレー缶(中身あり)				
		スプレー缶(中身なし)				
		電池(1次電池)				
		電池(2次電池)				
		蛍光管				
		ライター				
		水銀含有物				
	その他不燃物	その他金属	0.1%		0.1%	0.1%
		小型家電		0.7%		0.2%
		その他不燃物				
外袋	プラスチック袋	2.2%	1.9%	1.8%	2.0%	
	レジ袋	1.2%	1.8%	1.3%	1.4%	
	紙袋					
	その他					
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
資源物(紙類)			1.4%		0.4%	0.6%
資源物(びん・缶・ペットボトル)			1.1%	2.1%	0.2%	1.2%
資源物(容器包装プラスチック)			79.7%	78.8%	76.1%	78.2%
可燃物			14.3%	14.7%	20.1%	16.4%
不燃物			0.1%	0.7%	0.1%	0.3%
外袋			3.3%	3.7%	3.1%	3.4%
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2 分別不適物

(1) 燃やすごみ

分別不適物の割合は 18.5%、内訳は資源物(紙類)が 13.8%、資源物(びん・缶・ペットボトル)が 1.1%、資源物(容器包装プラスチック)が 3.0%、不燃物(その他)が 0.6%です。

資源物(紙類)の内訳は、容器包装紙類(リサイクル可)が 5.1%で最も多く、次いで、その他紙類(リサイクル可)が 3.2%、段ボールが 1.7%です。

表 2-6 燃やすごみの分別不適物

品目	割合
資源物(紙類)	13.8%
新聞(きれいな状態)	0.6%
折込広告	0.3%
雑誌・本	1.6%
OA用紙	0.2%
段ボール	1.7%
紙パック	1.0%
容器包装紙類(リサイクル可)	5.1%
その他紙類(リサイクル可)	3.2%
資源物(びん・缶・ペットボトル)	1.1%
資源物(容器包装プラスチック)	3.0%
不燃物(有害・危険物)	0.0%
不燃物(その他)	0.6%
合計	18.5%

(2) 燃やさないごみ

分別不適物の割合は 14.6%、内訳は資源物(紙類)が 0.3%、資源物(びん・缶・ペットボトル)が 6.1%、資源物(容器包装プラスチック)が 1.4%、可燃物が 6.9%です。

資源物(びん・缶・ペットボトル)は、ワンウェイびんが 5.7%で最も多く、次いで、飲用・食用アルミ缶が 0.3%、飲用・食用スチール缶が 0.1%の順です。

表 2-7 燃やさないごみの分別不適物

品目	割合
資源物(紙類)	0.3%
資源物(びん・缶・ペットボトル)	6.1%
リターナブルびん	
ワンウェイびん	5.7%
飲用・食用スチール缶	0.1%
飲用・食用アルミ缶	0.3%
ペットボトル	
資源物(容器包装プラスチック)	1.4%
可燃物	6.9%
合計	14.6%

(3) 容器包装プラスチック

分別不適物の割合は 18.4%、内訳は資源物(紙類)が 0.6%、資源物(びん・缶・ペットボトル)が 1.2%、可燃物が 16.4%、不燃物(その他)が 0.3%です。

資源物(びん・缶・ペットボトル)は、ペットボトルが 1.1%を占めています。可燃物は、容器包装プラスチック(汚れた状態)が 6.3%で最も多く、次いで、その他が 4.4%、製品プラスチック類が 3.5%です。

表 2-8 容器包装プラスチックの分別不適物

品目	割合
資源物(紙類)	0.6%
資源物(びん・缶・ペットボトル)	1.2%
リターナブルびん	
ワンウェイびん	
飲用・食用スチール缶	0.0%
飲用・食用アルミ缶	
ペットボトル	1.1%
可燃物	16.4%
容器包装プラスチック(アルミ蒸着)	2.1%
容器包装プラスチック(汚れた状態)	6.3%
製品プラスチック	3.5%
その他	4.4%
不燃物(有害・危険物)	
不燃物(その他)	0.3%
合計	18.4%

3 排出容器別のごみ重量と利用割合

(1) 燃やすごみ

燃やすごみの排出容器の平均重量は 1.82kg で、透明・半透明袋が 2.32kg、レジ袋が 1.06kg です。利用割合は、個数ベースで透明・半透明袋が 59.2%、レジ袋が 40.2%、重量ベースで透明・半透明袋が 75.6%、レジ袋が 23.5%です。

表 2-9 燃やすごみの排出容器別のごみ重量と利用割合

種類	容量	個数(個)		重量(kg)		容器1個あたりの重量(kg/個)
			割合		割合	
透明・半透明袋	20L					
	30L	3	1.7%	5.03	1.6%	1.68
	45L	25	14.4%	55.22	17.5%	2.21
	70L	1	0.6%			
	90L					
	表示なし	74	42.5%	178.54	56.5%	2.41
	小計	103	59.2%	239	75.6%	2.32
レジ袋		70	40.2%	74.11	23.5%	1.06
段ボール						
紙袋						
その他		1	0.6%	3.08	1.0%	3.08
合計		174	100.0%	315.98	100.0%	1.82

(2) 燃やさないごみ

燃やさないごみの排出容器の平均重量は 2.23kg で、透明・半透明袋が 3.67kg、レジ袋が 1.30kg です。利用割合は、個数ベースで透明・半透明袋が 40.0%、レジ袋が 56.4%、重量ベースで透明・半透明袋が 66.0%、レジ袋が 32.8%です。

表 2-10 燃やさないごみの排出容器別のごみ重量と利用割合

種類	容量	個数(個)		重量(kg)		容器1個あたりの重量(kg/個)
			割合		割合	
透明・半透明袋	20L					
	30L					
	45L	4	7.3%	9.43	7.7%	2.36
	70L					
	90L					
	表示なし	18	32.7%	71.38	58.3%	3.97
	小計	22	40.0%	81	66.0%	3.67
レジ袋		31	56.4%	40.17	32.8%	1.30
段ボール						
紙袋		1	1.8%	1.01	0.8%	1.01
その他		1	1.8%	0.44	0.4%	0.44
合計		55	100.0%	122.43	100.0%	2.23

(3) 容器包装プラスチック

容器包装プラスチックの排出容器の平均重量は 0.36kg で、透明・半透明袋が 0.52kg、レジ袋が 0.24kg です。利用割合は、個数ベースで透明・半透明袋が 41.2%、レジ袋が 58.8%、重量ベースで透明・半透明袋が 60.2%、レジ袋が 39.8%です。

表 2-11 容器包装プラスチックの排出容器別のごみ重量と利用割合

種類	容量	個数(個)		重量(kg)		容器1個あたりの 重量(kg/個)
			割合		割合	
透明・ 半透明袋	20L					
	30L	2	1.1%	1.45	2.3%	0.73
	45L	22	12.4%	10.90	17.2%	0.50
	70L					
	90L					
	表示なし	49	27.7%	25.88	40.7%	0.53
	小計	73	41.2%	38	60.2%	0.52
レジ袋		104	58.8%	25.32	39.8%	0.24
段ボール						
紙袋						
その他						
合計		177	100.0%	63.55	100.0%	0.36

4 反転コンテナ・角型容器 1 杯あたりの重量

燃やすごみと容器包装プラスチックについては、反転コンテナ 1 杯あたりの重量を、燃やさないごみについては角型容器 1 杯あたりの重量を測定しました。

燃やすごみの反転コンテナ 1 杯あたりの重量は 60kg です。燃やさないごみの角型容器 1 杯あたりの重量は 20kg です。容器包装プラスチックの反転コンテナ 1 杯あたりの重量は 11kg です。

表 2-12 反転コンテナ及び角型容器 1 杯あたりの重量

ごみ種	地域	ごみ量	杯数	1杯あたり重量
		(kg)	(杯)	(kg/杯)
燃やすごみ (反転コンテナ)	東小岩地域	111.26	1.8	62
	平井地域	103.51	1.7	61
	南葛西地域	101.21	1.8	56
	合計	315.98	5.3	60
燃やさないごみ (角型容器)	全域	122.43	6.0	20
容器包装プラスチック (反転コンテナ)	東小岩地域	21.02	2.1	10
	平井地域	21.44	2.0	11
	南葛西地域	21.09	1.9	11
	合計	63.55	6.0	11

写真 2-1 反転コンテナ



写真 2-2 角型容器



5 小型家電の分析

使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律では、法律の対象となる「対象品目」と、対象品目のうち、市区町村・消費者が認定事業者に対して無償での引渡しが可能となる品目で、国が特にリサイクルをするべきと特定した「特定対象品目」が定められています。

(1) 燃やすごみ

特定対象品目は1個で0.16kgが排出されました。特定対象品目以外は排出されませんでした。

表 2-13 燃やすごみの特定対象品目の排出状況

制度対象品目分類	品目	個数	重量(kg)
電子式卓上計算機その他の事務用電気機械器具	電卓	1	0.16

(2) 燃やさないごみ

特定対象品目は28個で5.86kg、特定対象品目以外の対象品目は13個で11.40kg、合計で41個、17.26kgが排出されました。

表 2-14 燃やさないごみの特定対象品目の排出状況

制度対象品目分類	品目	個数	重量(kg)
デジタルオーディオプレーヤー、ステレオセットその他の電気音響機械器具	イヤホン	1	0.04
電子式卓上計算機その他の事務用電気機械器具	電卓	1	0.12
ヘアドライヤー、電気かみそりその他の理容用電気機械器具	電動歯ブラシ	1	0.08
	ドライヤー	1	0.29
	バリカン	1	0.13
	電気かみそり	1	0.47
	ヘアアイロン	3	0.97
蛍光灯器具その他の電気照明器具	懐中電灯	3	0.36
電子時計及び電気時計	置時計	1	0.39
	時計	2	1.10
付属品	アダプター	5	1.39
付属品	充電器	4	0.23
付属品	リモコン	4	0.29
合計		28	5.86

表 2-15 燃やさないごみの特定対象品目以外の対象品目の排出状況

制度対象品目分類	品目	個数	重量(kg)
電話機、ファクシミリ装置その他の有線通信機械器具	ルーター	1	0.08
携帯電話端末、PHS端末その他の無線通信機械器具	Wi-Fi中継器	1	0.13
ディスプレイその他の表示装置	フォトフレーム	1	0.30
ジャー炊飯器、電子レンジその他の台所用電気機械器具	炊飯器	2	6.13
	湯沸かし器	1	1.03
電気アイロン、電気掃除機その他の衣料用又は衛生用の電気機械器具	掃除機	1	1.29
ヘアドライヤー、電気かみそりその他の理容用電気機械器具	電気ポンプ	1	0.60
蛍光灯器具その他の電気照明器具	スポットライト	1	0.44
	電灯	1	0.16
	ライト	1	0.43
ゲーム機その他の電子玩具及び電動式玩具	おもちゃ	2	0.81
合計		13	11.40

(3) 容器包装プラスチック

特定対象品目は1個で0.14kgが排出されました。特定対象品目以外は排出されませんでした。

表 2-16 燃やすごみの特定対象品目の排出状況

制度対象品目分類	品目	個数	重量(kg)
携帯電話端末、PHS端末その他の無線通信機械器具	携帯電話	1	0.14

第 3 章 食品ロスの廃棄状況

日本では、まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が年間で約 522 万トン（令和 2 年度推計）発生していると推計されています。食品ロスを減らすため、本区では区民、事業者と一体となった「えどがわ食べきり推進運動」を展開しています。

本調査では、未開封の製品やそのまま廃棄された野菜や果物など手つかずの食品ロスを「未利用品」として、開封したもののすべて使い切らずに廃棄した食品ロスを「使い残し」として、食べ切れずに廃棄されたものを「食べ残し」として分類しました。また、「未利用品」については、品目、消費期限・賞味期限について調査しました。

調査結果から、生ごみに占める「未利用品」「使い残し」「食べ残し」の割合と年間廃棄量を推計しました。

1 食品ロスの割合

燃やすごみの調査結果より、燃やすごみに占める割合は、「未利用品」が 3.63%、「使い残し」が 1.66%、「食べ残し」が 1.63%、「厨芥類」が 25.90%です。なお、過剰除去については判別が難しいため、今回の調査では「厨芥類」として分類しています。

燃やすごみに占める割合は、「食品ロス」全体で 6.92%、内訳は「未利用品」が 3.63%、「使い残し」が 1.66%、「食べ残し」が 1.63%です。

生ごみに占める割合は、「食品ロス」全体で 21.07%、内訳は「未利用品」が 11.05%、「使い残し」が 5.06%、「食べ残し」が 4.96%です。

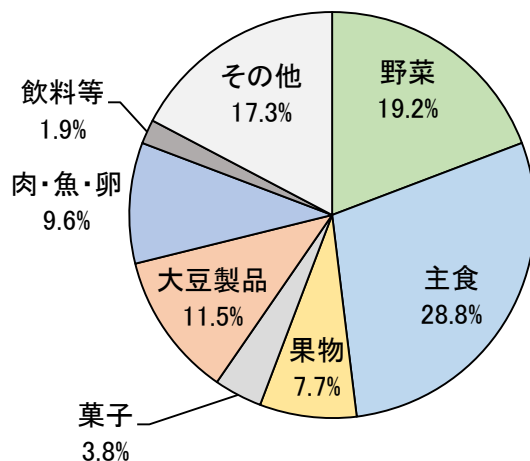
表 3-1 食品ロスの割合

		燃やすごみに 占める割合		生ごみに占める割合	
食品ロス	未利用品	3.63%	6.92%	11.05%	21.07%
	使い残し	1.66%		5.06%	
	食べ残し	1.63%		4.96%	
厨芥類		25.90%	25.90%	78.93%	78.93%
合計		32.82%	32.82%	100.00%	100.00%

2 未利用品の品目

未利用品の品目は、主食（米・パン・麺類など）が最も多く 28.8%、次いで、野菜 19.2%、その他 17.3%などの順です。

図 3-1 未利用品の品目

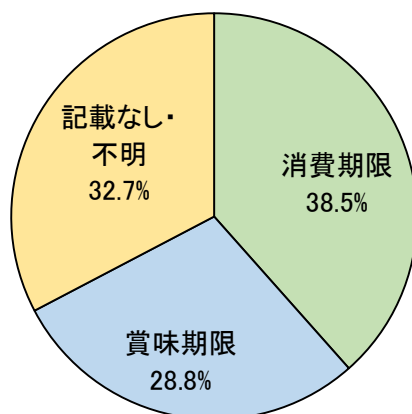


3 未利用品の消費期限・賞味期限

消費期限は「期限を過ぎたら食べない方がよい期限」のことです。一方、賞味期限は「おいしく食べることができる期限」のことで、この期限を過ぎても食べられないということはありません。

未利用品のうち、消費期限が記載されているものは 38.5%、賞味期限が記載されているものは 28.8%、記載なし・不明は 32.7%です。

図 3-2 消費期限・賞味期限の記載割合

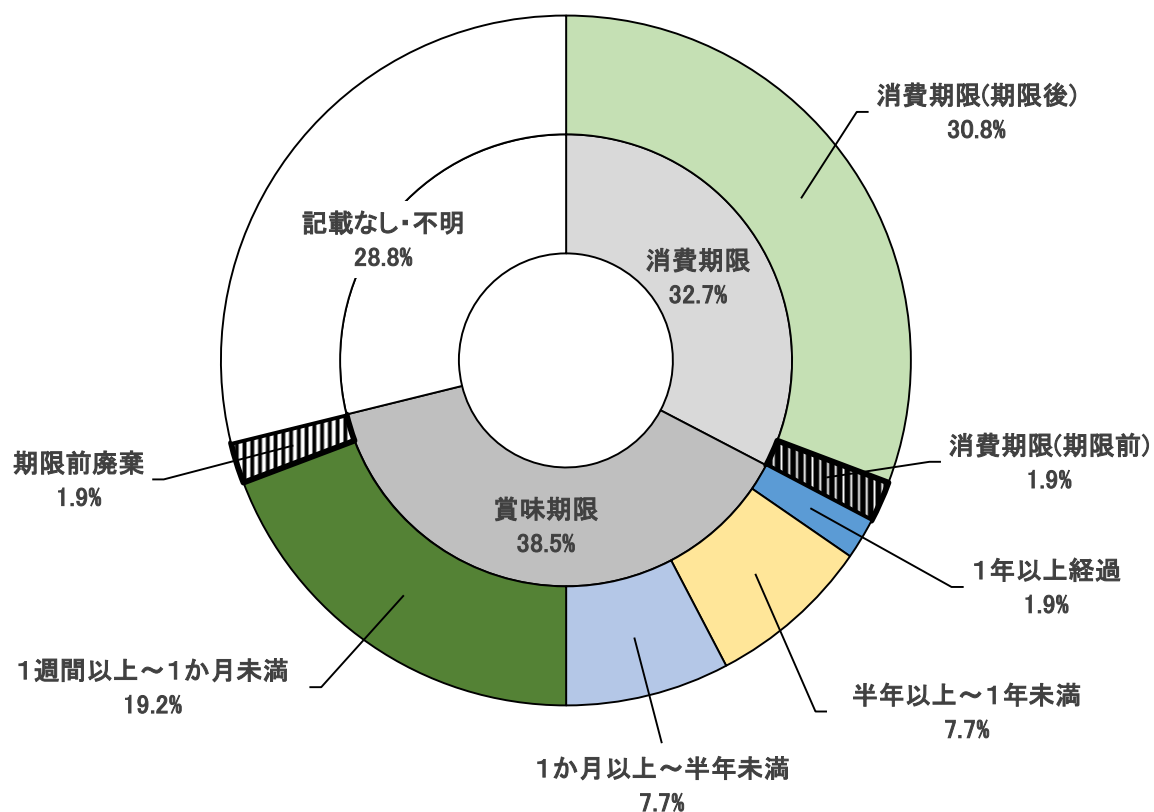


4 消費期限・賞味期限と廃棄日の比較

消費期限の記載のあるもののうち、期限前に廃棄されたものは未利用品の 1.9% でした。

賞味期限の記載のあるもののうち、期限前に廃棄されたものは未利用品の 1.9% でした。

図 3-3 消費期限・賞味期限と廃棄日の比較



5 食品ロスの年間廃棄量の推計

表 4-1 に示す令和 4 年度の燃やすごみの推計量に組成割合を乗じて、燃やすごみの生ごみは 38,382 t、うち「未利用品」が 4,243 t、「使い残し」が 1,941 t、「食べ残し」が 1,904 t と推計されます。

未利用食品のうち、消費期限が記載されているものは 1,388 t、賞味期限が記載されているものは 1,632 t、記載なし・不明は 1,224 t と推計されます。

消費期限が記載されているもののうち、期限前に廃棄されたものは 82 t、賞味期限が記載されているもののうち、期限前に廃棄されたものは 82 t と推計されます。

表 3-2 食品ロスの年間廃棄量の推計

				燃やすごみに 占める割合	年間廃棄量 推計(t/年)
食 品 ロ ス	未 利 用 品	消費 期限	期限後廃棄	1.12%	1,306
			期限前廃棄	0.07%	82
		賞 味 期 限	1年以上経過	0.07%	82
			半年以上～1年未満	0.28%	326
			1か月以上～半年未満	0.28%	326
			1週間以上～1か月未満	0.70%	816
			1週間未満	0.00%	0
			期限前廃棄	0.07%	82
			小計	1.40%	1,632
			記載なし・不明		1.05%
		小計		3.63%	4,243
		使い残し	1.66%	1,941	
	食べ残し	1.63%	1,904		
	小計		6.92%	8,089	
厨芥類(食べ残し含まない)				25.90%	30,294
合計				32.82%	38,382

第 4 章 考 察

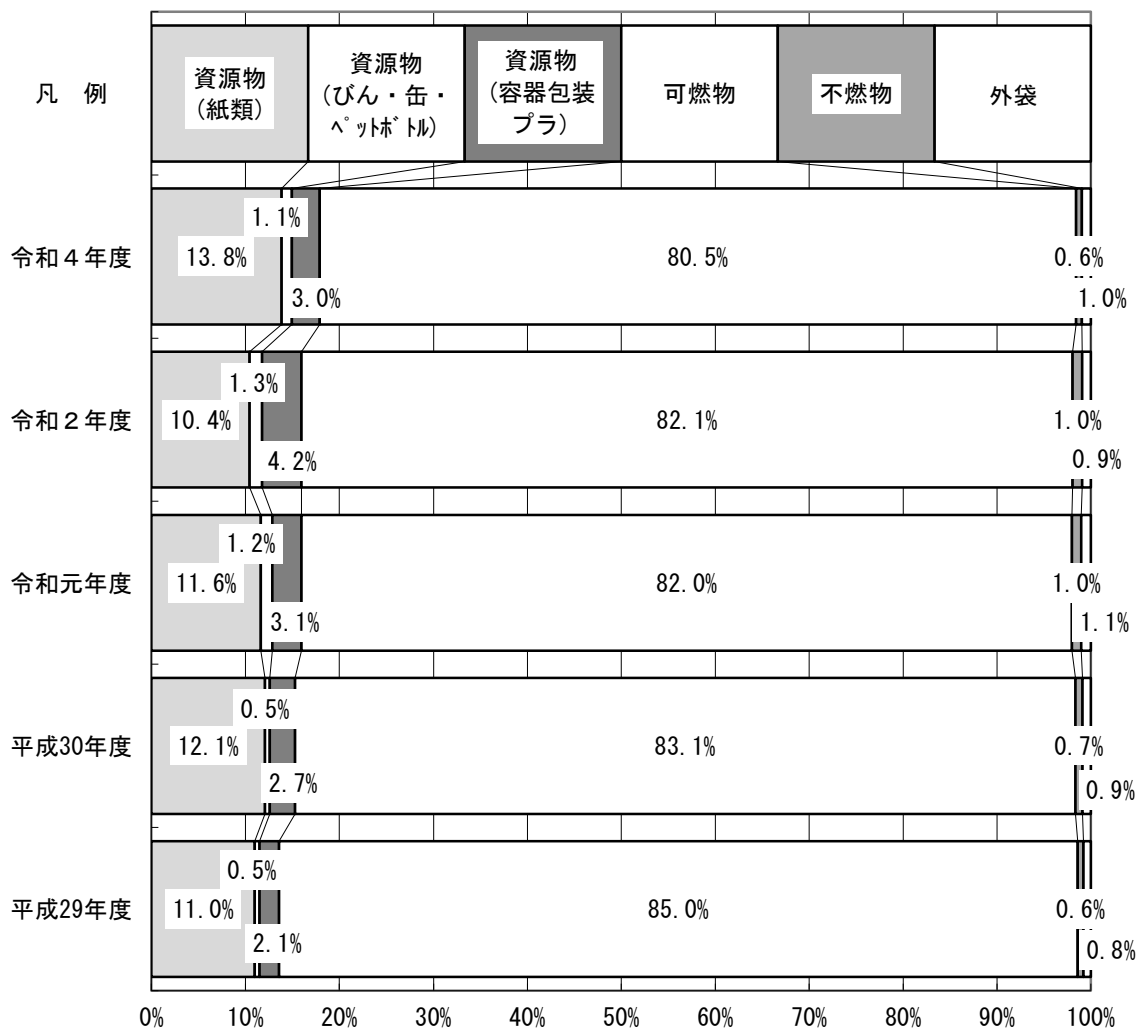
1 過去の調査との比較

分別区分ごとの過去の調査（平成 29 年度～令和 2 年度）との比較を示します。

(1) 燃やすごみ

燃やすごみの過去の調査との比較を図 4-1 に示します。令和 2 年度調査と本年度調査を比較すると、資源物（紙類）が 3.4%増加し、可燃物が 1.6%、資源物（容器包装プラ）が 1.2%減少しています。

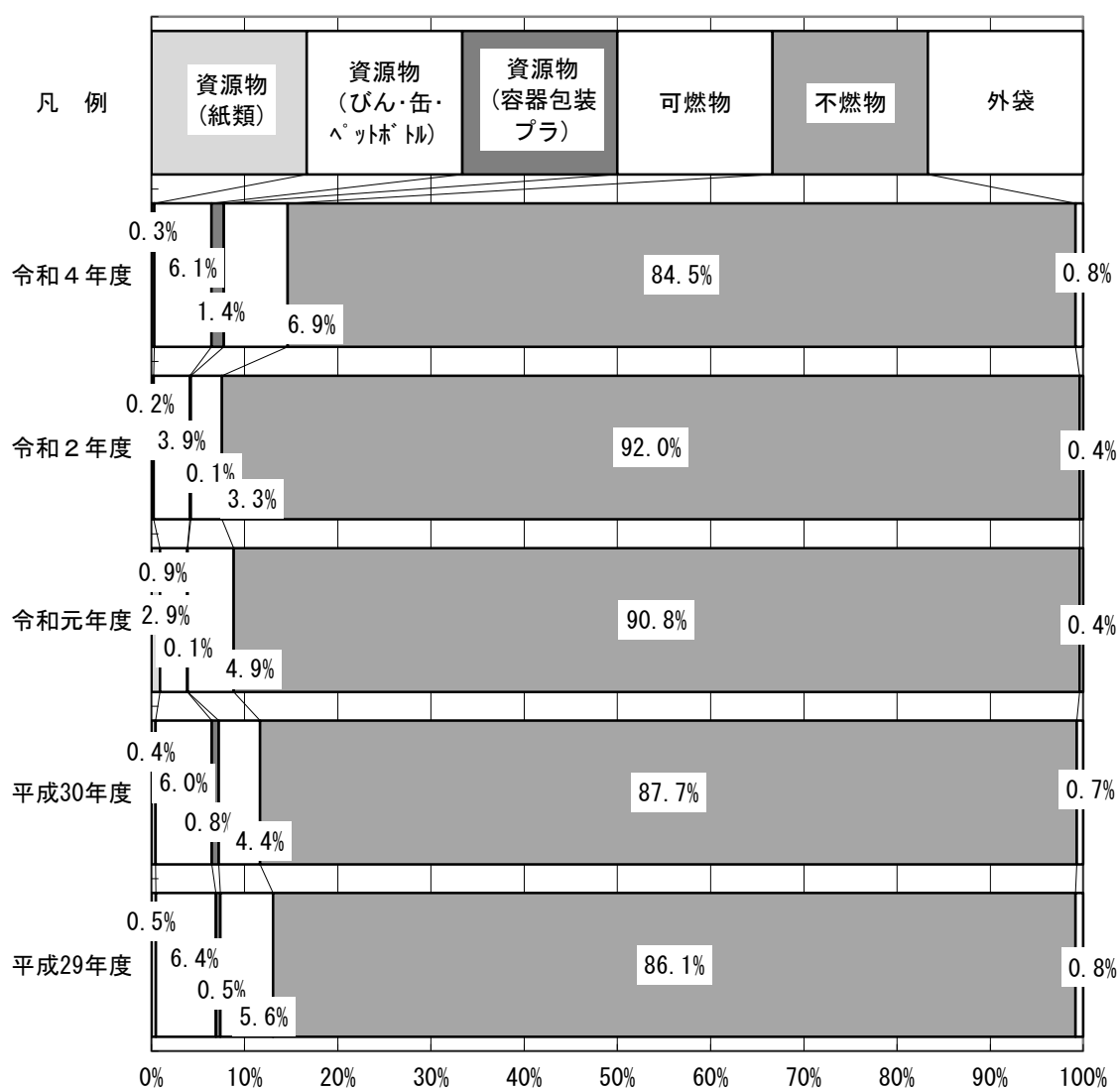
図 4-1 燃やすごみの過去の調査との比較



(2) 燃やさないごみ

燃やさないごみの過去の調査との比較を図 4-2 に示します。令和 2 年度調査と本年度調査を比較すると、可燃物が 3.6%、資源物（びん・缶・ペットボトル）が 2.2% 増加し、不燃物が 7.5% 減少しています。

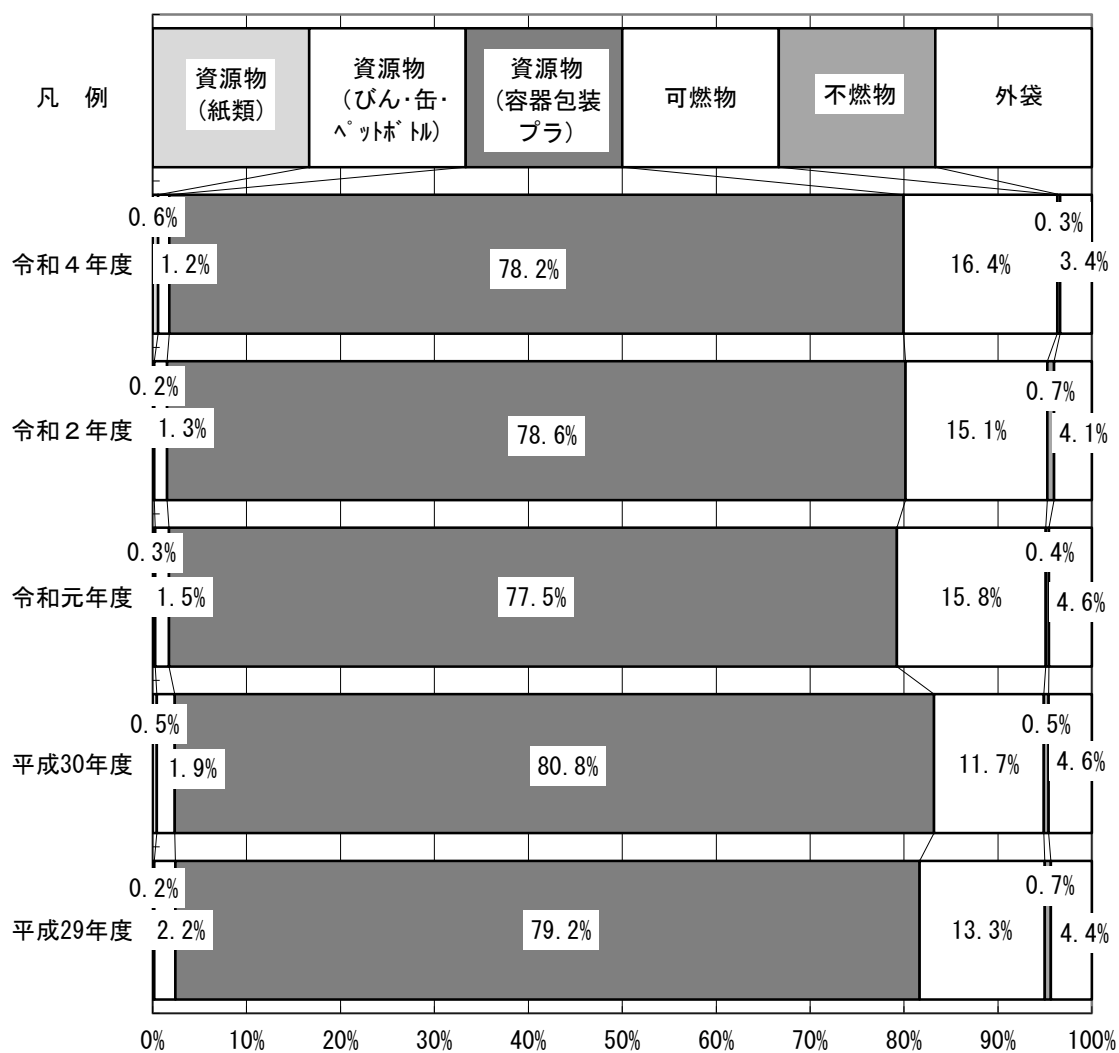
図 4-2 燃やさないごみの過去の調査との比較



(3) 容器包装プラスチック

容器包装プラスチックの過去の調査との比較を図 4-3 に示します。令和 2 年度調査と本年度調査を比較すると、可燃物が 1.3%増加しています。

図 4-3 容器包装プラスチックの過去の調査との比較



2 ごみ減量の可能性

令和3年度及び令和4年度前半のごみ量から令和4年度のごみ量を推計しました。令和4年度のごみ量は、燃やすごみが116,949 t、燃やさないごみが2,866 tと推計されます。

表 4-1 令和4年度のごみ量推計

	実績値				単位(t/年) 推計値
	R4前半	R3前半	R3後半	R3合計	R4全体
	A	B	C	D=B+C	E=A×D÷B
燃やすごみ	59,584	60,091	57,853	117,944	116,949
燃やさないごみ	1,476	1,697	1,598	3,295	2,866

これに、分別区分ごとの組成割合を乗じることで、燃やすごみと燃やさないごみに含まれている資源物と将来の資源化施策によって資源化が可能になると思われる潜在的な資源物〔容器包装プラスチック(落とせる汚れ)、小型家電、その他金属〕の量を推計しました。

資源物は、燃やすごみには20,936 t (17.9%)、燃やさないごみには223 t (7.8%)、合計で21,159 t (17.7%)含まれています。内訳は、その他紙類が3,788 t (3.2%)、容器包装紙類が5,982 t (5.0%)で、いわゆる雑がみ(ざつがみ)が約4割を占めています。紙類全体では16,177 t (13.5%)です。

潜在的な資源物は、燃やすごみに8,320 t (7.1%)、燃やさないごみには1,389 t (48.5%)、合計で9,709 t (8.1%)含まれています。内訳は、容器包装プラスチック(落とせる汚れ)が8,023 t (6.7%)、その他金属が1,220 t (1.0%)、小型家電が466 t (0.4%)です。

表 4-2 令和4年度の品目別のごみ量推計

大分類	中分類	小分類	組成割合(%)		推計量(t/年)		
			燃やす ごみ	燃やさない ごみ	燃やす ごみ	燃やさない ごみ	合計
資源物	紙類	新聞(きれいな状態)	0.6%		718		718 (0.6%)
		折込広告	0.3%		383		383 (0.3%)
		雑誌・本	1.6%		1,830		1,830 (1.5%)
		OA用紙	0.2%		253		253 (0.2%)
		段ボール	1.7%	0.2%	2,038	7	2,045 (1.7%)
		紙バック	1.0%		1,179		1,179 (1.0%)
		容器包装紙類(リサイクル可)	5.1%	0.0%	5,981	1	5,982 (5.0%)
		その他紙類(リサイクル可)	3.2%	0.0%	3,786	1	3,788 (3.2%)
	びん・缶・ ペット ボトル	リターナブルびん					
		ワンウェイびん	0.1%	5.7%	115	164	279 (0.2%)
		飲用・食用スチール缶	0.1%	0.1%	134	3	137 (0.1%)
		飲用・食用アルミ缶	0.4%	0.3%	435	8	443 (0.4%)
		ペットボトル	0.5%		599		599 (0.5%)
	容器包装 プラス チック	食品トレイ	0.2%		182		182 (0.2%)
		食品用パック類	0.4%		484		484 (0.4%)
		カップ類	0.1%		171		171 (0.1%)
		ボトル容器	0.8%	1.3%	885	37	923 (0.8%)
		レジ袋(中身なし)	0.4%		431		431 (0.4%)
		キャップ類	0.1%		89		89 (0.1%)
		フィルム容器	0.9%	0.0%	1,056	1	1,058 (0.9%)
	保護材	0.2%		186		186 (0.2%)	
可燃物	紙類	新聞(汚れた状態)	1.0%	0.2%	1,172	6	1,178 (1.0%)
		容器包装紙類(リサイクル不可)	1.6%	0.1%	1,871	3	1,874 (1.6%)
		その他紙類(リサイクル不可)	12.1%	0.0%	14,185	1	14,186 (11.8%)
	布類		6.6%	0.0%	7,729	0	7,729 (6.5%)
	生ごみ	生ごみ(未利用品)	3.6%		4,243		4,243 (3.5%)
		生ごみ(使い残し)	1.7%		1,941		1,941 (1.6%)
		生ごみ(食べ残し)	1.6%		1,904		1,904 (1.6%)
		生ごみ(厨芥類)	25.9%		30,294		30,294 (25.3%)
	木・草類		3.5%	0.1%	4,143	3	4,147 (3.5%)
	プラス チック・ ゴム・ 皮革類	チューブ容器	0.1%	0.1%	74	3	77 (0.1%)
		レジ袋(中身あり)	0.5%	0.2%	554	5	559 (0.5%)
		容器包装プラスチック(アルミ蒸着)	0.6%		688		688 (0.6%)
		容器包装プラスチック(汚れた状態)	6.9%		8,023		8,023 (6.7%)
		製品プラスチック(プラスチック単一素材)	2.4%	2.4%	2,804	68	2,872 (2.4%)
		金属とのプラスチック複合製品	0.1%	2.9%	104	84	188 (0.2%)
		医療用プラスチック製品	0.1%	0.0%	78	1	80 (0.1%)
		その他プラスチック製品	0.0%	0.0%	11	1	12 (0.0%)
		ゴム・皮革類	1.7%	0.1%	1,930	3	1,933 (1.6%)
	その他 可燃物	医療系					
		その他可燃物	10.6%	0.6%	12,415	19	12,434 (10.4%)
不燃物	有害・ 危険物	スプレー缶(中身あり)		0.8%		23	23 (0.0%)
		スプレー缶(中身なし)		3.1%		89	89 (0.1%)
		電池(1次電池)	0.0%	4.3%	7	123	131 (0.1%)
		電池(2次電池)		3.6%		102	102 (0.1%)
		蛍光管		0.5%		15	15 (0.0%)
		ライター		0.1%		3	3 (0.0%)
		水銀含有物					
	その他 不燃物	その他金属	0.3%	23.7%	391	678	1,069 (0.9%)
		小型家電	0.1%	14.2%	60	407	466 (0.4%)
		その他不燃物	0.2%	34.3%	238	982	1,220 (1.0%)
外袋	プラスチック袋		0.7%	0.4%	781	11	792 (0.7%)
	レジ袋		0.3%	0.4%	372	11	383 (0.3%)
	紙袋			0.0%		0	0 (0.0%)
	その他			0.1%		2	2 (0.0%)
合計			100.0%	100.0%	116,949	2,866	119,815 (100.0%)
資源物	紙類		13.8%	0.3%	16,168	9	16,177 (13.5%)
	びん・缶・ペットボトル		1.1%	6.1%	1,283	175	1,458 (1.2%)
	容器包装プラスチック		3.0%	1.4%	3,485	39	3,524 (2.9%)
	合計		17.9%	7.8%	20,936	223	21,159 (17.7%)
潜在的な資源物	容器包装プラスチック(落とせる汚れ)		6.9%		8,023		8,023 (6.7%)
	小型家電		0.1%	14.2%	60	407	466 (0.4%)
	その他金属		0.2%	34.3%	238	982	1,220 (1.0%)
	合計		7.1%	48.5%	8,320	1,389	9,709 (8.1%)

3 今後の課題

令和4年3月に策定した第2次 Edogawa ごみダイエットプラン(江戸川区一般廃棄物処理基本計画)では、令和13年度の目標値として、区民一人1日あたりのごみ量460(g/人・日)を設定しています。また、令和3年6月に策定した江戸川区食品ロス削減推進計画では、2030年度までに区内の食品ロス量を2010年度比で半減することなどを目標に掲げています。

清掃移管以降、区収集ごみ量は減少し続けてきましたが、令和元年度～令和2年度は増加に転じ、令和3年度は減少しております。令和4年度も前半(4月～9月)のごみ量で令和3年度前半と比べると、燃やすごみは0.8%、燃やさないごみは13.0%減少しています。ダイエットプランの目標値を達成するためには、ごみ減量のさらなる取り組みが必要です。

ごみの中には、資源物が21,159 t(17.7%)、将来の資源化施策によって資源化が可能になると思われる潜在的な資源物が9,709 t(8.1%)含まれていると推計されますので、さらなるごみ減量を推進するためには、次のような取り組みが必要です。

○生ごみの減量

燃やすごみに占める生ごみの割合は、令和2年度は33.6%、今年度は32.8%と微減です。「未利用品」「使い残し」「食べ残し」の食品ロスが生ごみに占める割合は、6.9%と推計されます。引き続き、食べきり推進運動を通じた食品ロスの削減やごみ排出時の水切りなど、区民によるごみの発生を抑制する取り組みを促進させていくことが必要です。

○雑がみ(ざつがみ)の分別の徹底

燃やすごみに含まれる資源物の大半は紙類で16,177 t、そのうち、雑がみ(ざつがみ)が容器包装紙類とその他紙類の合計で9,769 t発生すると推計されます。新聞、段ボールなどはほとんどがリサイクルされていると考えられますが、雑がみ(ざつがみ)は多くがごみとして捨てられていると考えられます。雑がみ(ざつがみ)を資源として排出する仕組みや普及啓発活動について検討する必要があります。

○容器包装プラスチックの分別の徹底と質の向上

燃やすごみには、容器包装プラスチック(きれいなもの)が3,485 t、容器包装プラスチック(落とせる汚れ)が8,023 t、合計で11,508 t含まれていると推計されます。

一方、容器包装プラスチックの分別回収量は年々減少あるいは横ばいで推移しており、令和3年度で2,865 tとなっています。少しの手間をかけるだけで資源として排出することができる容器包装プラスチックが分別回収量の約4.0倍もごみとして排出されていることとなりますので、分別回収を促進する普及啓発活動が必要です。

○燃やさないごみからのピックアップ回収

燃やさないごみは、小型家電や金属などのピックアップ回収の開始により平成 28 年度には 42.5%減少しましたが、平成 29 年度～令和 2 年度にかけて増加傾向が続 き、令和 3 年度は減少に転じています。燃やさないごみを減量するためには、ピッ クアップ回収を引き続き実施し、対象品目の増加や選別精度の向上を目指す必要があ ります。

○レジ袋有料化の効果

令和 2 年 7 月からレジ袋が有料化されました。燃やすごみの中のレジ袋の割合は 令和元年度 1.4%から今年度 1.2%へと 0.2 ポイント減少、容器包装プラスチックの 中のレジ袋の割合は令和元年度 4.9%から今年度 3.8%へと 1.1 ポイント減少し、有 料化はレジ袋のごみ減量に効果がありました。今後も、レジ袋を含むプラスチックの さらなる減量に向けての普及啓発活動が必要です。

江戸川区家庭ごみ組成分析調査報告書

令和 5 年 3 月発行

江戸川区環境部清掃課
〒132-8501 江戸川区中央 1-4-1
TEL 5662-8434（直）